

背景

- ★森林資源の利活用、住民の交流の場の創設を図るための観光事業の推進
⇒昭和52年から森林公園を段階的に整備
- ★第2期西興部村総合戦略「基本目標4 おいでよ、暮らしてみようよ、この村で作戦」
⇒森林公園再整備を明記

現状の課題

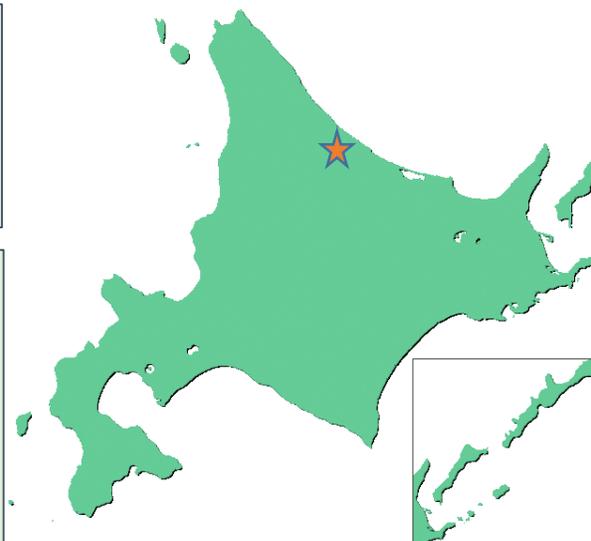
- ★村の人口、5,000人→1,000人に減少。道内3番目に少ない自治体
- ★交流の拠点の森林公園内の各施設→老朽化
- ★森林公園来場者20,000人→4,000人に減少
- ★地方債の借入→将来負担が増加
⇒子どもたちが安心して遊べる場所や村外者が来訪する場所がなくなる。
このままでは地域の魅力がなくなる→さらに観光交流人口が減少・・・

事業の目的

- ★森林公園リニューアルに向け、子育て世帯を対象にアンケートを実施。
子どもたちが安心して楽しめる施設にしてほしいとの多くの要望。
⇒立地条件を生かした「自然に触れ、学び、いこいの場として楽しめる公園づくり」

事業内容

- ★令和4年度から2か年で森林公園リニューアル <総事業費2億5,000万円>
 - ✓バッティングセンター更新（バーチャルシステム2台、ストラックアウト1台）
 - ✓キャンプスペース改修（テントサイト増設、トイレ新設、駐車場整備など）
 - ✓エンジン式ゴーカート→電動遊具に変更（地球温暖化対策に貢献）
 - ✓ふわふわドーム新設 ✓子ども用遊具新設



○北海道北東部に位置し、1月から3月にかけて流氷が来るオホーツク海までは約20kmの内陸に位置します。

○約1,000人が暮らし、村の面積は308.08km²で東京23区の約半分。9割は森林が占め、夏は30℃を越え、冬は-20℃を下回る日もあります。

○基幹産業は酪農で、飼育している牛は約3,800頭。牛の糞尿を資源として有効活用し、バイオガス発電を行っています。

得られる
成果等

- ★「日本最北」のバッティングセンターを今後も存続させます。
- ★子育て世代の交流の場、子どもの居場所づくりを進めます。
⇒**交流人口の増加を目指します。**
- ★令和3年度に近隣3町村の中学野球部連合チームが全国大会に出場しベスト8の快挙！
少子化の影響で今年は4町村の連合チームになりましたが、後輩たちも全国大会を目指して日々練習に励んでいます。
⇒**バッティング練習できる環境があることで、子どもたちの夢を応援できます。**

<企業の皆様へのお願い>

- ★北海道に「西興部村」という自治体があることを、まずは知っていただければ幸いです。
- ★企業版ふるさと納税による経済的支援をお願いします。
- ★村職員に対し、「挑戦すれば結果が伴う」という成功体験への導きをお願いします!!

<企業の皆様のメリット>

- ★全国的に消えゆく中、「日本最北のバッティングセンター」存続に貢献できます。
- ★小規模自治体への支援により社会貢献につながります。
- ★感謝状の贈呈式を開催させていただきます。
- ★村の広報紙、ホームページ、CATVでご紹介させていただきます。
- ★その他ご提案に応じて協議いたします。

○「夢、おこす村 にしおこっぺ」をキャッチフレーズに、村民の夢叶う村づくりに取り組んでおり、ホテル森夢（りむ）、森の美術館木夢（こむ）、道の駅フラワーパーク花夢（かむ）、子育て支援センター里住夢（りずむ）など、名前に「夢」が付く施設が皆さんをお待ちしております。

○R4.6.17に交通事故死ゼロ1万日を達成し、道内一の記録を更新中です。



西興部村のイメージカラー「オレンジ」に色彩統一した建物と村の風景



【お問い合わせ先】 西興部村役場 地域総合戦略室 担当：木原（きはら）、有我（ありが）
電話：0158-87-2111 メール：ni.kikaku@vill.nishiokoppe.lg.jp

 <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	 <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>
--	--	---	--	---